

謹賀 新年



撮影：12月26日 尾花沢中学校

12月定例会

- 補正予算を可決……………2
- 一般質問……………4
- 議会改革検討委員会……………8
- 先進地に学ぶ……………9
- 広域組合議会報告……………10
- R347号通年通行開始……………11
- 私のひとこと……………12

私のお仕事



地域おこし協力隊員
(長野県南部出身)

林 けんいち

尾花沢市地域おこし協力隊として11月14日より活動しています。林慶一です。市内のイベントなどで見掛けることもあると思いますので、その際はどうぞ宜しくお願い致します。

私は長野県の南部出身で、こそこの量の雪が降る地域から尾花沢へやって来ました。こちらの積雪量は知識として知ってはいましたが、いざ経験してみると雪の勢いが予想以上であり、ただただ驚くばかりです。先日、雪道用の長靴を買いましたが、安心感が違いますね。暖かいし、裾は汚れないし、滑らないし。もう冬は長靴が手放せません。私は銀山温泉に惚れ込んで、その近くに住みたいという想いから尾花沢市への移住を決めました。最終的には銀山温泉近くの古民家に移り住み、ノンビリ



とした尾花沢ライフを送るのが野望でございます。元々は都内のIT系の企業に勤めており、その時は一日中パソコンの前に座って作業しているだけでした。そんな私も、今は様々な地域行事に参加し、南沢ではカブ取りをしましたし、母袋や六沢ではソバ打ち体験、宮沢ではイルミネーション制作のお手伝いなど色んな経験をしております。



す。ちょっとした講演を頼まれ、人前で長時間喋る機会もありました。

一月には三日町の裸参拝への参加も予定されており、初めに尽くしの毎日です。この経験は尾花沢に移って来なければ経験することはなかったでしょう。おかげで自分の人生がとても豊かになっていっていると実感します。この体験を沢山の人もっと知ってもらいたいと思います。地域おこし協力隊の活動を通じて、尾花沢の魅力をもっともっと大勢に届けられるよう尽力していきます。沢山の人が尾花沢を訪れ、若い人も高齢の方も、皆が元気に笑っている街が私の理想です。

あとがき

明けましておめでとうございます。昨年は347号も通年通行となり、し尿処理場の落成や福原工業団地への新たな企業の参入計画など、本市には明るい話題が多くありました。

議会での出来事を全て「議会だより」に掲載することは難しいですが、親しみがあがり読みやすい紙面を目指し、今後とも市民との架け橋として議会だより編集に携わってまいります。
(鈴木 裕雅)

表紙

「聴いている人に感動を与えられ、自分たちも感動できる音楽」を日々追求している尾花沢中学校吹奏楽部。12月18日の最北地区アンサンブルコンテストで、4パートすべてが金賞を受賞する快挙を成しとげました。1月14日の県大会へ向け猛練習中です。

- 市議会だより編集委員
- 委員長 塩原未知子
 - 副委員長 小関 英子
 - 委員 大類 好彦
 - 委員 笹原 和子
 - 委員 伊藤 浩
 - 委員 鈴木 清
 - 委員 鈴木 裕雅

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会



市のホームページから **市議会インターネット中継・録画も見てください!**

補正予算を可決

教育・くらし・観光・建設などに活用

一般会計 6億6716万円・国民健康保険特別会計 8718万円・介護保険特別会計 4920万円などを追加

主な補正予算

(万円未満四捨五入)

- 一般会計**
- 臨時福祉給付金 **5250万円**
 - 畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業 **1億7506万円**
 - 鶴沢ため池改修事業負担金 **770万円**
 - 社会資本整備総合交付金事業
 - ・橋梁長寿命化事業 **4600万円**
 - ・市営住宅長寿命化事業 **3000万円**
 - 学校施設環境改善交付金事業
 - ・尾花沢小学校トイレ改修事業(洋式化) **6500万円**
 - 広域観光多言語パンフレット作成業務委託料 **400万円**

尾花沢市議会委員会条例の一部を改正する条例

議会の常任委員会の改編のため、次期平成29年8月常任委員会の改選から、3常任委員会を2常任委員会に再編します。

名称	定数	所管課
総務文教常任委員会	8人	総務、総合政策、財政、定住推進、地域支援、市民税務、会計、消防、教育委員会、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
産業厚生常任委員会	8人	健康増進、福祉、福祉事務所、農林、商工観光、建設、環境整備、中央診療所及び農業委員会の所管に属する事項

4600万円



萱刈畑橋
橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全のために市内約90橋の橋梁点検・診断を行い、修繕します。今回は、萱刈畑橋や山の河恭山などが予定です。

橋梁長寿命化修繕計画事業

3000万円



障子タイプの断熱ガラス

今年度は長根下住宅1号棟に続き、2号棟の外壁塗装・屋根ふきかえ・断熱ガラス設置・階段の手すり取り付けを行います。

市営住宅長寿命化事業

6500万円



学校トイレの洋式化率は尾花沢小学校で34%、市内小中学校で33.3%、県平均の41.2%と比べても低くなっています。家庭のトイレのように使用できる洋式化が求められ改善されます。

尾花沢小学校トイレの洋式化

400万円



347号多言語パンフレットイメージ

のほか、英語・韓国語・タイ語・中国語(簡体字)・広東語(繁体字)の5つです。

R347号の通年通行の開始により、インバウンド(外国からの旅行者)向けに、多言語パンフレットを1万部作成し、絆交流協議会2市2町に配布します。言語は、日本語

広域観光多言語パンフレット作成

定例会のあらまし

平成28年12月定例会が12月5日から12日までの会期で開催されました。28年度一般、特別会計の補正予算6議案を原案の通り可決。請願2件を採択し、意見書の提出と、委員会条例の一部を改正する議案を含む8件の条例関係議案を原案の通り可決しました。また7人の議員が一般質問を行いました。

採択された請願

◎平成28年請願第7号

地方財政の充実・強化を求める請願(意見書を提出)
連合山形北西村山地域協議会

議長 高橋 正昭

◎平成28年請願第8号

平成30年産を目途とする生産数量目標配分の見直しにかかる尾花沢市農業再生協議会の機能発揮に関する請願

みちのく村山農業協同組合

代表理事組合長 高谷 尚市



あけましておめでとうございます



新年のごあいさつ



私達市議会は、市民の皆様への負託に応えるべく、その権能を十分に発揮できるように議会改革に努めています。

また、議員として職責の重さを自覚し、常に襟を正し、市政の発展を願い、安心安全な市民生活と福祉向上のため一丸となつて邁進して参りますので本年も宜しくお願い致します。

尾花沢市議会議員

菅野 修一

稲作 作況指数のエリアは行政区域で分けるべきである



伊藤 浩議員

Q 増え続ける鳥獣被害を抑えるためには個人ごとの対応だけでは限界にきている。地域ごとで効果のある対策を進めるためにも、市内全戸を対象としたアンケート調査を実施し、被害の全貌を把握すべきではないか。

A 簡易電気柵設置の補助事業は現在個人への対応となつていますが、今後は、共同での設置や、地域として取り組む方法で検討を進めたい。被害の全貌を把握する事は、出没傾向や対策を講じる上で大いに参考になるので、その手法について検討したい。

Q 水稲の作況指数は現在山形県を4ブロックに分けて決められているが、中山間地の多い本市では作況指数が実状に反映されていない時が多い。特に飼料米の作付助成金に大きな影響が出る。市単独で決められる事ではないが、作況指数区域の見直しについて働きかけるべきではないか。

A 今年の作況指数は103と発表されたが、天候の不順などにより、特に早生品種にバラツキが見られ、中山間地域においては数値が低い状況の圃場があった。これらも踏まえ、地域の実状に即した作況指数となるよう、関係機関に要望していきたい。

Q 尾花沢市の念願であったR347号の通年通行が開始された。今後、隣県市町との交流を具体的にどう進めていく



のか。例えば、市町輪番でのイベント開催や、県境付近を整備し、山形・宮城両市町の産直施設の設置などを考えてはどうか。
A R347号を活かし、全ての業種にメリットを生める産業づくりを基本として進めたい。具体的には尾花沢の雪を活かしたスノーランドの開設、各市町の農産物を一同に集めた産直イベントやスポーツイベントの開催を考えている。また、鍋越沼周辺の観光拠点施設の整備については、今後2市2町を中心に調整しながら検討したい。

子供たちの安全対策と防災対策の充実を



小関 英子議員

Q 夏期プールで水泳の授業をしているが、水の事故は主に海や河川・湖など自然の場所できている。特に冬期は厚着になり、この状況で水の事故にあつた時、生命を守るために着衣水泳に関する知識と緊急時に対応できる技能や心構えを養うために、着衣水泳などの訓練を実施すべきではないか。

A 今年度は着衣水泳を行っている学校はなく、水の事故や災害時において、着衣水泳の経験の有無が命に関わる重要な訓練であると考えられる。学校教育としては、指導者が着衣水泳指導

の研修を受け、知識や技能を習得した上で、子どもに指導をしていく必要があると考えている。研修会への参加の奨励や訓練の実施に向けて検討したい。

Q 災害時の要援護者については、チェックリストなどで把握し安否確認が行われているが、一般家庭については、安否確認の体制は整っているか。

A 災害時要援護者避難支援制度は、平成23年度より運用を開始し、約1千件が登録されている。一般家庭のリスト作成はしていない。災害に強いまちづくりのために顔の見える地域防災コミュニティづくりを進めていきたいと考えている。

Q 火災の初期段階で発生を防止し、延焼拡大の抑制や阻止する効



防災ジュータン



防災カーテン

果がある防災品(写真)の利用を推進してはどうか。

A 防災品は、消防法に基づき防災規制の対象と防災物以外のもの、寝具、衣服類など人体への安全性も確保されており、消防本部でも婦人防火協力班と共に普及に努めてきた。市独自の防災品の利用促進、助成制度は消防本部とも連携し検討したい。

給付型奨学金制度の創設を！



鈴木 清議員

と納税を財源として、給付型奨学金制度を創設してはどうか。

A 高校生への無利子貸与の「おもだか奨学金」はあるが、大学生のものはない。給付型奨学金制度は大きな財源や基金が必要となるため、国や県の動向を注視し、慎重に検討したい。

Q 「子供の貧困対策に関する大綱」に沿って、本市でも検討の場を設け、計画を策定すべきではないか。

A 本市では「貧困の状態にある家庭」に限らず、各部署ごと色々な対策を講じている。国の「大綱」並びに「山形県子どもの貧困対策推進計画」に基づき施策を推進したい。

Q 今年も低所得者に灯油購入券を発行する考えはないか。

Q サルナート・コンベンションホールの使用料は、他市町と比べ割高になる。「市の財産の施設を市民に貸す」という考えでなく「市民の財産である施設を有効に利用していただく」ため、使用料を見直しすべきでないか。
A 入場料徴収を営利事業と認めた場合、使用料に加算金が生じ割高になる。使用料は近隣自治体を参考に今後検討したい。

AED設置場所の見直しを



青野 隆一議員

Q AEDの活用で一命が救われた事例から、いつでも使用できるよう設置場所を見直してはどうか。

A 現在設置している公共施設では、夜間や休日の使用ができない状況となっている。人命に関わることであり、有効活用ができる設置場所について検討していきたい。

Q 新規作物の導入や農畜産物の加工・販売を支援するため、農業公社を設立してはどうか。

A 担い手不足が著しい本市で、新たな農地管理主体としての役割は大きいと思うが、採

算性の面などさまざまな課題がある。人・農地プランに掲げる「中心となる担い手」を確保し、集落営農組織や大規模農地集約を目指す農業法人の設立に向けて支援したいと考えている。

Q JAグリーンの移転計画と一体となって、観光物産協会や産直コーナーの併設を進める考えはないか。

A R37号を通行する方々に、本市の観光や特産品に関する情報提供ができる興味深い提案であるが、人件費や運営費などの支援が必要になる。まずは、観光物産協会が自主財源を確保することが先決で、道の駅と同様に「花笠のまち観光案内所」としての協力をお願いしていきたい。

Q 現在の尾花沢市役所の正職員数は263名とこの10年間で43名が減少し、17名の臨時職員によって業務が補完されている現状にある。今後の職員採用や臨時職員の確保をどうしていくのか。



A 優秀な人材を確保するために、魅力的な地域づくりを行うことが必要である。地元に残って、あるいは戻って職員として働きたい人を増やすことになる。臨時職員については、来年度の登録募集を行い、各課の必要人数を精査しながら人員の確保に努めたい。



塩原未知子議員

Q 北町地区の再開発は学校統廃合も含め商店街活性化や公共施設全体を考えたければならない。市はまちづくりに対して大きなビジョンを持ち、未来に何を継承するべきか本町地区全体の計画を示すべきだ。

A 「都市計画マスタープラン」に基づく整備、コンパクト化を目指す基本構想とし、市民参画、行政と一体となった都市づくり体制の確立に努め、にぎわいのある市街地形成のため検討していく。

Q 冬期間の交流人口増には徳良湖の観光面での活性化が鍵だ。それには交流イベントの日程重複をなくした告知と、地区、運営組織、所管課の壁を見直し、若手職員や地域おこし協力隊の力を活用し、銀山温泉から市内を周遊させるルートを工夫すべきではないか。

A 市の若手職員GENKI尾花沢チームの部会と市内の若手グループで徳良湖スノーフェスタや冬のイベントを企画。雪に触れることが出来る場の提供など計画している。銀山温泉から市内周遊のルートは重要だが、受け入れ体制が不十分。特にトイレについては早急に対応をし、冬期間中のイベントは各地区と調整して出来るだけ重複しないようにする。

商店街の活性化対策はどのように！



大類 好彦議員

Q 11月には花笠高原荘検証検討委員会が開催されたと聞いている。その話し合いは、どのような話し合いになり、今後どのようにしていくか。

A 修繕しながら続けるか、営業形態をどうするか、あるいはやめるかなど、将来に向けて検討していく。今年度は3回の委員会を開催し、来年度中に提言を頂く。

A 道路や流雪溝整備のほか、保育料の多子軽減策の実施などの取り組みがある。



元気な尾花沢を語る会

Q 中心商店街の活性化対策が必要と感じる。都市計画で旧13号線沿いの商店街、道路拡幅の予定があるとは聞いている。現在どうなっているか。道路拡幅し、電柱を地中化し、無散水消雪歩道にすれば、違った雰囲気になり、



活性化に繋がると思う。花笠まつりでの集客・誘客など、銀山の観光客が、徳良湖の花笠踊り資料館、芭蕉清風資料館、商店街へと寄り添って行くべきと考えるがどうか。

A 今年度から市の重要事業要望として、県に要望している。



奥山 格議員

Q R37号が通年通行となったが、今後どのように本市の産業や観光の振興につなげていくのか。

A R37号の起点は寒河江市で宮城県側だけでなく、県内からも誘客ができるよう積極的に宣伝していく。12月1日に、徳良湖オートキャンプ場管理棟内に「花笠踊り資料館」を開設した。花笠音頭や花笠踊りの伝統と歴史を継承できる施設として広く宣伝していきたい。

市役所一丸となり人口減少対策を

Q 昨年の国勢調査の結果は、本市の人口減少率が10・6%で県内で4番目に高かった。本市は豪雪地帯というハンデはあるが、このままでは減少するばかりで、いかに減少を抑えるか市役所が一丸となって対策を講ずるべきではないか。

A 人口減少対策については、過疎対策事業債を活用し展開してきた。昨年10月に尾花沢市総合戦略を策定し、新たに5つの基本目標を掲げ、「市民とともにつくる協働のまちづくり」をそれぞれが役割を担って元気な尾花沢をめざしていく。

でもなぜこのような構造にできないのか。また、紫波町の市庁舎には階段が5つと玄関が5か所ある。本市の基本設計では玄関3か所と階段が2つと少ないが、非常に迅速な避難ができないのではないかと懸念している。

A 新庁舎と保健センターを一体化することで子育て支援や健康増進、介護等の窓口部門が一体となり、多様なニーズに総合的に対応しワンストップでの相談ができれば利便性が高まると考えている。これについてはこれまで検討を重ね、所管課や介護施設関係者からの色々な意見を踏まえて決めた。避難経路については、庁舎の北側に一か所避難口を設ける方向と、定期的に避難訓練を実施することで職員や来庁者の安全確保に努めていく。

新庁舎完成前に本町地区まちづくりを見直す住民話し合いの場が必要ではないか

議会改革検討委員会 行政調査報告

尾花沢市議会では、開かれた議会を目指して議会改革検討委員会を設置しています。今回、議会基本条例・議員政治倫理条例の研修に寒河江市議会に伺いました。

平成28年12月22日 寒河江市議会

1. 議会基本条例の策定の経緯について

- ①どのような体制で進めたか。
各会派より代表を出し、議会活性化検討委員会を設置し検討を進めた。
- ②研修・先進地視察などは行ったか。
行政視察に合わせて、基本条例制定自治体に視察を実施した。
- ③合意形成（すり合わせ等）はどう進めたか。
議会活性化検討委員会と事務局で素案を作成。会派代表者会議・会派会合を合意にいたるまで何度も開催した。

2. 議員政治倫理条例の策定の経緯について

- ①どのように進めたか。
議会基本条例策定委員会を設置し進めた。
- ②研修・先進地視察などは行ったか。
執行部との意見交換会を実施した。
- ③合意形成（すり合わせ等）はどう進めたか。
市民との意見交換会を実施した。

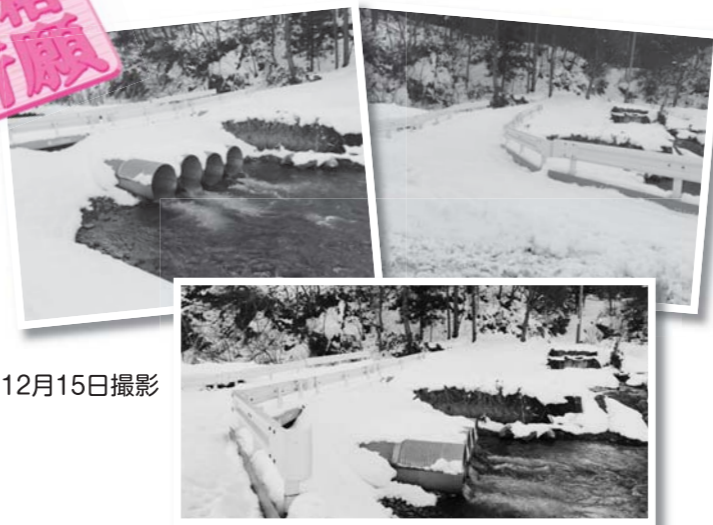


TOPICS 特集

荒楯橋の今！

「荒楯不動尊までの仮設橋を設置」

8月の台風被害で決壊した隼地区の荒楯橋は、11月30日に仮設橋の設置が完了し通行可能になりました。川の濁水期にあわせての設置で、春の雪解けで川の増水前に撤去します。本復旧は、H29年度の濁水期に予定しています。



合格祈願

12月15日撮影

岩手県紫波町議会

議会基本条例の策定の経緯について

本格的な議会活性化の取り組みは、H19年9月に「議会のあり方に関する検討委員会」の設置から始まった。できることから取り組み、その後議会基本条例の結果としてまとめることにした。

8年間で114回を数える検討委員会の開催にその姿勢の強さを感じる。通年議会の導入、政策形成サイクルの導入で一定の形が出来上がり、改選により議員が代わっても引き続き継続が望まれる事が町民の付託によるものとなるようにするために議会基本条例の制定が必要となった。条例策定にあたり、参画する町民を募集、4名を選定して委員、改革第一期(40回)H

青森県十和田市議会

ひらかれた議会について

H23年3月定例会で議会改革特別委員会を設置、7名の委員を選任しH26年11月13日まで64回の特別委員会を開催し、市民にひらかれた透明性の高い議会運営と市民参加を議会のありべき姿に掲げ、

議会の基本理念や基本方針など議会に関する基本的事項を基本条例の骨子としている。その条例の特徴は「市民との意見交換などの実施」「議長・副議長の選挙の前に本会議においての所信表明の機会設定」「当局反問権の付与」「議員定数の複数所属の導入、議会モニター」の設置、改正を行った。町民に対する約束を明文化したことを評価し、学ばべき点があった。

を付して提言する「議会改革に継続的に取り組む」ことである。条例制定後について質疑をし、意見交換会の状況は地区ごと年に1回同日行っている。私達も共通の課題を持って取り組んでいること、後世に何を残し、今の取り組みが評価されるよう努力していくべきことを再確認した。



平成28年11月9日(水)

【西川町議会だより編集委員会】

映画「いしや先生」の舞台、志津温泉と月山湖のある西川町議会では、「読みやすく、わかりやすい」広報誌を目指し、見出しや読者視線を大切に定例会で審議された住民に直接届ける目玉事業を特集記事として、毎号メリハリのあるレイアウトを心がけています。一般質問は1人1ページの構成で、議会中から編集会議を開催している。アンケートの実施企画や「文書アドバイザー」、町民から募集した「読者モニター」から意見を取り入れて編集している。住民目線を念頭に日々スキルアップに努め、広報誌を議会活動の重要な手段として、フル活用している点が特に素晴らしいと感じました。

【山形県市議会議長会議会報研修会】

今年も先進地視察後に村山市クアハウス基点で行われた山形県市議会議長会議会報研修会に参加しました。山形新聞社の新しいプレス工場や編集風景のDVDによる研修、講師に(株)山形新聞社の編集局長 藤原 敏彦氏。理部長 斎藤 敏彦氏。「読んでもらえる議会報づくり」で、写真やタイトルの選び方や、目を引く見出しのつけ方を学びました。次の92号はもっと市民目線で読みやすく、読んでもらえる市議会だよりの編集をどのようにするか、何から始めるか、早速次号の編集に活かせる事を議論しました。参加した委員一同、車中で活発な意見が飛び交う良い研修会となりました。

通年通行開始！ 347号

R347号は、寒河江市を起点に河北町、村山市、大石田町、尾花沢市、宮城県加美町を経由し、大崎市を結ぶ89⁺の道路。

今まで、尾花沢市と加美町にある県境の鍋越峠17.7⁺部分が冬期間通行止めになっていたが、午前7時～午後7時までの日中のみ通行できるようになった。

隣接市町は、観光振興に大きな期待を寄せている。

なるように
しあわせに
みんな



撮影：H28年12月28日

広域組合議会の報告

北村山広域行政 組合議会

北村山広域行政事務組合議会は、12月21日、村山市議会議場で開催された。H28年度一般会計補正予算は、財務委託システム更新に伴う業務委託に187万円を追加、総額1億92万円と可決された。任期満了に伴う教育委員人事で、大石田町教育長の布川元氏を再任する事に同意。また、第36回北村山地区自作視聴覚コンクール（社会部門）で、尾花沢市名木沢の名木野功さんが『名木沢一本杉伝説』の紙芝居（左写真）が、奨励賞に輝いた。



北村山公立病院 組合議会

H28年12月26日、東根市議会議場で北村山公立病院組合議会第3回定例会が開催された。H28年度補正予算をはじめとする4議案が審議された。
農業による骨折などが減少したことや、人口減少の影響から、入院・外来ともに患者数が減少している。収入・支出ともに減少しているが、中期計画にはおおむね整合していることなどを確認し、慎重に審議して全議案が可決された。
さらに、県立病院がない地域であることから、県に財政支援を強く要望していることや、医師確保が最重要課題であり努力の結果、明るい兆しがみえている旨の報告がなされ、これを了承した。

環境衛生事業 組合議会

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会の臨時会が12月20日、同組合議場で開かれた。H28年度一般会計補正予算、尾花沢市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（銀山維持管理費 施設等修繕料）が可決されました。
ネットワーク修繕費
78万8千円
銀山地区浄化センター修繕
120万円



募集します！

議会だより・読者モニター（若干名）

読みやすい広報誌にするために、年4回発行する議会だよりについての、ご意見を寄せて頂くモニターを募集します。

小学生・中学生・高校生のみなさんも大歓迎です。ボランティアによるご協力をお願いします。



議会だより編集会議

応募の期間

2月28日（火）午後5時までに、ご連絡をお願いします。

連絡先

尾花沢市議会事務局
電話 22-1111 FAX 24-0321
メール gikai_j@city.obanazawa.yamagata.jp

- 11月
- 1日 総務文教常任委員会
 - 2日 議会改革検討委員会
 - 7日 汚泥再生処理センター竣工式・翔政会会派勉強会
 - 9日 議会だより編集委員会行政調査（西川町）
 - 山形県市議会議長会議会報研修会（村山市）
 - 10日 企業視察会
 - 11日 尾花沢市平和を願う集い
 - 14日 議会改革検討委員会
 - 19日 R347号通年通行記念式典・祝賀会
 - 21日 市民厚生常任委員会
 - 22日 除雪車出動式・総務文教常任委員会
 - 24日 産業建設常任委員会
 - 25日 農業委員会総会・おばねクラブ会派勉強会
 - 28日 議会運営委員会・全員協議会・翔政会政策提言
- 12月
- 5日～12日 12月定例会
 - 7日 市政クラブ政策提言
 - 17日 花笠高原スキー場開き
 - 19日 北村山公立病院組合議会議会運営委員会
 - 議会だより編集委員会
 - 20日 環境衛生組合議会・12月臨時会
 - 21日 北村山広域行政事務組合議会臨時会
 - 22日 議会改革検討委員会行政調査（寒河江市議会）
 - 26日 北村山公立病院組合議会定例会
 - 産業建設常任委員会政策提言
 - 27日～28日
- 1月
- 5日 無火災祈願祭・市民新春祝賀会・市民賞授章式
 - 6日 市民厚生常任委員会